

令和 6 年度

「運営に関する計画」
最終評価

大阪市立田川幼稚園

令和 7 年 3 月

大阪市立田川幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本園は、5歳児、4歳児、各1クラスの小規模園である。広い園庭で自分のしたいことを選んで伸び伸びと遊んだり、いろいろな栽培物から季節を感じたりすることができる。また、少人数であることを強みとし、一人一人の姿や思いを、丁寧に受け止めることができる。

子どもたちは、自分の思いをもったり、意欲的に遊んだりする一方、自分の思いが通りやすい大人との関わりを求める姿も見られる。幼稚園の集団生活を通して、いろいろな人と一緒に過ごす楽しさ、活動を共に進める面白さを感じられるような取組を、家庭や地域と連携して進めていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度末の保護者アンケート「幼稚園は安全に対する意識や習慣が身に付くように取組んでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケート「お子さんは友達との関わりを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者アンケート「幼稚園は子どもの興味を広げる取組をしていますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケート「お子さんは体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケート「お子さんは食べ物の種類や役割に関心をもつようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の保護者アンケート「お子さんは絵本に親しむようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケート「幼稚園は取組内容を家庭や地域に発信しようと努力していますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は安全に対する意識や習慣が身に付くように取り組んでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは友達との関わりを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は子どもの興味を広げる取組をしていますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは食べ物の種類や役割に関心をもつようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 令和6年度の保護者アンケート「お子さんは絵本に親しむようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は取組内容を家庭や地域に発信しようと努力していますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

保護者アンケートでは、すべての項目において、肯定的回答の割合が目標を上回り、高評価を維持することができた。幼児の実態を捉え、保護者と共有し、一人一人に寄り添った働きかけをしたり、集団生活だからこそ得られる豊かな経験が積み重なるように、保育内容を工夫したりしたことが、評価につながったと考える。また、ふれあい遊びや身近な自然を使った遊びなど、異年齢で一緒に遊ぶことで、楽しさを共有したり、さらに遊びを広げたりすることができた。今年度の成果や課題を踏まえ、次年度も、小規模園ならではの活動の充実を図りながら、保護者や地域への幼稚園教育の発信を続け、連携に励みたい。

大阪市立田川幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 学校園の年度目標 ○令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は安全に対する意識や習慣が身に付くように取り組んでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは友達との関わりを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 非常変災時において、組織全体で子どもの命を守り、子どもが自分の身の守り方を身に付けられるように、実態に合わせた避難訓練に取り組む。 指標・年10回以上、様々な想定での避難訓練を計画し、実施する。	A
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 友達や教師と一緒に活動し、様々な思いや考えにふれ、人と関わる力を育む。 指標・月1回以上、異年齢交流活動をする。	A
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 友達や身近な人と一緒に過ごす楽しさが味わえるような環境や保育内容を工夫する。 指標・月1回以上、全園児で歌に親しむ活動をする。	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ○令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は安全に対する意識や習慣が身に付くように取り組んでいますか」の項目について「そう思う」93.3%、「だいたいそう思う」6.7%で、合計100%となり、70%以上にする目標を大きく上回った。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは友達との関わりを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」86.7%「だいたいそう思う」13.3%で合計100%となり、70%以上にする目標を大きく上回った。 【取組内容】について ①避難訓練を10回実施した（火災4回、地震1回、引き渡し（地震）1回、防犯2回、津波1回、抜き打ち1回）。前年度の反省から、年間計画を見直し、火災の避難訓練から実施した。また、幼児の実態から、一人一人が安全に避難できるように、必要な想定を十分に検討して実施した。実施後には、幼児の姿を共有し、必要な指示や連携など、次回に生かせる反省を行った。支援を要する幼児が多いため、幼児の身の安全を確保できる体制のとり方について、全教職員が共通理解するようにした。1月には、地震後の津波を想定して、小学校への避難訓練を実施した。教師自身も身を守りながらどのように避難誘導するか考え、安全意識が高まった。2月には、抜き打ちの避難訓練を行った。様々な避難訓練から、4歳児は、教師の指示を聞いて避難したり、災害時の雰囲気はいつもとは異なると感じたりするようになってきた。5歳児は、自分の身を守るために指示を聞く大切さを分かり、避難行動をとるようになった。以上よ	

り、進捗状況をAとする。

- ②月に1つ、ふれあい遊びを決め、年間で取り組んだ。異年齢でのペアを決めて一緒に遊ぶ機会をもち、親しみやすい曲や、生活からイメージしやすい遊びを取り入れたことで、ペアの友達の存在に安心し、一緒に遊ぶことを楽しみにするようになった。2学期は、体操をしたりかけっこをしたり、一緒に体を動かして遊ぶ機会をもった。互いの運動会の遊びを見合ったり、応援したりすることで、5歳児は、4歳児の頑張りに気付いて声をかけるようになり、4歳児は、憧れの気持ちから自分もやってみたいと思いをもちようようになった。好きな遊びの中でも、サッカー遊びや鬼遊びを一緒に楽しむ姿が見られるようになった。3学期も、ふれあい遊びを一緒にする機会を継続した。顔を見合わせ、楽しさを共有する姿が見られた。誕生月の幼児や教職員が誰か分かるように、掲示物を作成した。祝ったり祝われたりする経験が積み重なり、みんなで祝うことを楽しみにしたり、誕生児を思ってプレゼントづくりをしたりする姿が見られるようになった。以上より、進捗状況をAとする。

4月	手をたたきましょう	11月	むしむしジャンケン
5月	よろしくね!	12月	ジングルベル
6月	せんたく	1月	ひつつきもつつき
7月	おふろやさんにいこう	2月	はじまる!はじまる!
8・9月	かたたたき	3月	誕生月なかま
10月	おやこでビュ〜ン!		

- ③年間計画通り月1回以上全園児で歌に親しむ活動ができた。6月、9月、12月には、外部の講師を招き、どちらのクラスでも親しんでいる曲を指導していただいた。みんなで一緒に歌い、楽しいと思える経験を積み重ねることで、クラスでも自信をもって歌う姿や、隣のクラスから聞こえてくる歌と一緒に口ずさんだりする姿が見られるようになった。また、『とんぼのめがね』は敬老の集いでも歌い、祖父母の方も一緒に口ずさんでくださり、身近な人と一緒に声を合わせて歌う楽しさを味わうことができた。大阪市立幼稚園音楽会の前には、5歳児が歌う姿を4歳児に見てもらふ機会をもった。5歳児は繰り返し見たり聞いたりしてもらふことで、歌う姿勢を意識したり、友達の声聴きながら歌おうとするようになった。4歳児は、何度も5歳児が歌う姿を見たり聞いたりしたことや、作品展でたくさんの人に聞いてもらい、大きな拍手をもらった経験から、自信をもって大きな声で歌うようになった。子どもたちの実態に合わせ、月に1つ選曲し歌ったことで、全園児で同じ歌に親しみ、誕生会や式を通して一緒に歌う経験が積み重なり、友達と声を合わせて歌う楽しさを味わったり、安心して歌うことを楽しんだりするようになった。以上より、進捗状況をAとする。

4月	先生とおともだち	11月	どんぐりきのこおいも
5月	ちっちゃないちご	12月	サンタクロースサンタクロース
6月	ながぐつマーチ	1月	おおさむこさむ
7月	水遊び	2月	しあわせなら手をたたこう
8・9月	とんぼのめがね	3月	おわかれかいのうた
10月	うんどうかいのうた		

次年度への改善点

- ①今後も子どもの実態や教職員体制から、必要な想定の実践を検討し、実施する。
- ②小規模園ならではの異年齢活動の充実を図る。
- ③今後も子どもの実態に合わせた活動を検討し、全園児で歌に親しめる活動を工夫していく。

大阪市立田川幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校園の年度目標 ○令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は子どもの興味を広げる取組をしていますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは食べ物の種類や役割に関心をもつようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 身近な環境に関わって遊べるような活動内容を工夫する。 ----- 指標・年4回以上、季節を感じられるような環境の見直しを行い、自然や生き物に触れる経験をする。	A
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 進んで体を動かして遊べるよう、実態に合わせた活動や遊びの工夫をする。 ----- 指標・月1回以上、全園児で体を動かす活動や集団遊びに取り組む。	A
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 保護者と連携し、家庭や幼児の実態を把握しながら、育てた野菜をきっかけに食べ物へ興味・関心がもてる指導に取り組む。 ----- 指標・年3回以上栽培活動を行う。 ・視覚、嗅覚、感覚などを使う食育指導に取り組む。	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ○令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は子どもの興味を広げる取組をしていますか」の項目について「そう思う」80%「だいたいそう思う」13.3%で合計93.3%となり、70%以上にする目標を大きく上回った。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「そう思う」86.7%「だいたいそう思う」13.3%で合計100パーセントとなり、70%以上にする目標を大きく上回った。 ○令和6年度末の保護者アンケート「お子さんは食べ物の種類や役割に関心をもつようになりましたか」の項目について「そう思う」66.7%「だいたいそう思う」33.3%で合計100%となり、70%以上にする目標を大きく上回った。 【取組内容】について ①年4回以上栽培物の選定や場の確保、自然物を取り入れた遊びの展開について検討し環境を見直した。1学期から身近な自然(葉、花、石、栽培物など)を見たり触れたりする機会をも	

ったことで、匂いに興味をもつようになった。2学期には、自然物を遊びに取り入れ、ままごと遊びで食べ物や飲み物に見立てたり、泡遊びにシソの葉を入れ、匂いや色の変化に興味をもち、自分なりに試したり友達の考えを取り入れたりして遊ぶようになった。また、野菜や花を栽培する際、種の大きさや形の違いなどをじっくり見て植え、水やりや芽が出てきたことに興味や関心をもつようになった。4歳児は、ヒヤシンスやクロッカスの水耕栽培で根が伸びている様子や芽が出てきたことなど、視覚的に生長を感じたことで、より興味をもち、観察し気付いたことを話す姿があった。5歳児は、生き物当番や水やり当番など、クラスで役割を決めザリガニの飼育や水やりに取り組み、グループの友達と協力したり必要な世話を考えたりするようになった。また、教職員間で日常の子どもの様子や実態を共有し、今何に興味や関心があるか、季節感を感じられる環境をどう整えるのかを話し合い進めたことで、充実した遊びにつながった。以上より、進捗状況をAとする。

- ②月1回以上、全園児で体を動かす機会をもった。1学期は安心できる異年齢のペアの友達と一緒に触れ合って遊ぶ活動や体操、ダンスを取り入れたことで、体を動かすことを楽しんだ。ペアの友達に親しみを深めていくと、互いの遊びに興味をもつようになり「やってみたい」「面白そう」と意欲的に体を動かして遊ぶ姿が増えた。2学期は、5歳児がしていたチャレンジ遊びに、4歳児が興味をもったことで、一輪車や縄跳び、フープなどに挑戦したり、5歳児が見本となり見せたり教えたりして一緒に遊ぶ姿が見られ、互いに刺激を受け合った。12月から始めたマラソンでは、走る時間や速度を教職員で話し合ったり、毎日のマラソンが楽しみになるように、取り組んだことが視覚的に分かるような掲示物を活用したりしたことで、意欲が高まり、教師や友達と一緒に走る楽しさや目標に向かって取り組む達成感を味わう姿が見られた。3学期には、当番の子どもが前に立って体操をし、お手本になることで、人前で動きを知らせることを楽しむようになった。以上より、進捗状況をAとする。

- ③幼児が野菜に触れたり、育てたりする機会をもてるよう、野菜の栽培活動を、年間を通して実施した。栽培活動を通して、五感を使って観察する姿や自分で育てた野菜を食べる喜びを感じる姿が見られた。また、「野菜カード」を配付し、家庭での様子を把握し、食育指導に生かした。

食育指導は年齢ごとの実態に合わせて行った。5歳児は、遊びながら食べ物の栄養（三大栄養素）に興味や関心をもてるように、教師が画用紙等で手づくりした食べ物の模型を使った弁当づくりを実施した。取り組んだ結果、昼食時に「3つの力が揃っている」や「元気弁当だ」と話す姿が見られた。また、骨にいい食べ物を知らせたことをきっかけに、肉だけでなく魚にも関心をもつ姿が見られるようになった。以上より、進捗状況をAとする。

10月	4歳児	野菜クイズ
10月	5歳児	栄養について
11月	4歳児	体をつくる食べ物について
11月	5歳児	骨にいい食べ物について
12月	5歳児	三大栄養素について
1月	4歳児	朝ごはんの大切さについて
2月	5歳児	おやつを取り方について

次年度への改善点

- ①今後も身近な環境に興味をもてるよう、環境を整えていく。
 ②今後も子どもが進んで体を動かしたくなるよう、活動の工夫をする。
 ③子どもの実態に合わせた指導内容の工夫に取り組む。

大阪市立田川幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 【学校の年度目標】 ○令和6年度の保護者アンケート「お子さんは絵本に親しむようになりましたか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。 ○令和6年度末の保護者アンケート「幼稚園は取組内容を家庭や地域に発信しようとして努力していますか」の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を70%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況												
取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 互いに学び合うことで教員の資質の向上に努める。 指標・年1回以上、全教員が主になって園内研修を行う。	A												
取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】 幼児が絵本に親しめる絵本環境や活動を工夫する。 指標・年3回以上、保護者と一緒に絵本に親しむ活動を行う。	B												
取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 教育内容を、家庭や地域等に発信する。 指標・学期に3回以上、就学前教育カリキュラムを活用した掲示物を作成し、家庭や地域に発信する。	A												
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析													
【年度目標】について ○令和6年度の保護者アンケート「お子さんは絵本に親しむようになりましたか」の項目について「そう思う」66.6%「だいたいそう思う」26.7%で合計93.3%となり、70%以上にする目標を大きく上回った。 ○令和5年度末の保護者アンケート「幼稚園は取組内容を家庭や地域に発信しようとして努力していますか」の項目について「そう思う」86.7%「だいたいそう思う」13.3%で、合計100%となり、70%以上にする目標を上回った。 【取組内容】について ①年度当初に計画を立て、次の表の通り実施した。 <table border="1"> <tr> <td>6月</td><td>安心・安全に生活するために（安全）</td></tr> <tr> <td>6月</td><td>感触を感じながら遊ぶ（造形）</td></tr> <tr> <td>9月</td><td>いろいろな気持ちについて知る（保健）</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>身近な自然に興味をもち関わって遊ぶ（大阪市立幼稚園教育研究会、研究保育）</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>技法遊びをする（造形）</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>三大栄養素について考える（食育）</td></tr> </table> それぞれの教員が子どもの実態からねらいをもって、立案し、実践した。事後には、環境構成や教育的意図をもった働きかけなどを、教員で討議し、高め合った。研究保育を動画に撮り、保育後に自分の保育を見ることで、振り返ったり、学びを深めたりすることにつなげた。園内		6月	安心・安全に生活するために（安全）	6月	感触を感じながら遊ぶ（造形）	9月	いろいろな気持ちについて知る（保健）	11月	身近な自然に興味をもち関わって遊ぶ（大阪市立幼稚園教育研究会、研究保育）	10月	技法遊びをする（造形）	12月	三大栄養素について考える（食育）
6月	安心・安全に生活するために（安全）												
6月	感触を感じながら遊ぶ（造形）												
9月	いろいろな気持ちについて知る（保健）												
11月	身近な自然に興味をもち関わって遊ぶ（大阪市立幼稚園教育研究会、研究保育）												
10月	技法遊びをする（造形）												
12月	三大栄養素について考える（食育）												

研修を行い、互いの保育を見合うことで、幼児理解が深まったり、考え方の幅が広がったりし、資質向上につながった。以上より、進捗状況をAとする。

- ②毎月の保育室帰りの日に、保護者と一緒に絵本に親しめる機会をつくった。4・5月は教師が読む絵本を保護者と一緒に見る活動、6～11月は保護者と一緒に見たい絵本を選び、絵本を見る活動を行った。12月は、保護者による読み聞かせを実施した。1月は、教師が生活発表会の劇遊びの絵本を読み聞かせた。保護者とスキンシップをとったり、会話をしたりしながら楽しむ姿が見られた。また、保護者による読み聞かせでは、集中して話を聞く姿や、感想を吐く子どもの姿があった。家庭だけではなく幼稚園でも保護者と一緒に絵本を楽しむ活動があったことで、子どもは保護者と一緒に絵本を見られることを楽しみにし、期待をもって活動に参加していた。長期休業前には保護者と一緒に貸出の絵本を選んだ。子どもの実態に合わせ、1階の絵本コーナーを広く設け、子どもの興味や季節に合った絵本を置くように見直したり、子どもの興味が広がるように新しい絵本を購入したりした。全園児で絵本を見る機会を設けことで、絵本に興味をもち、自分から絵本を手に取り楽しむ姿が見られた。クラスでの絵本を見る時間にも集中して見ている姿や、友達が借りた絵本に興味をもち、自分も借りて見てみようとする姿が見られ、友達が見ている絵本への関心も高まっている。絵本カードの保護者からのメッセージには、「繰り返し見ていた」「お話に出てくる場所に自分も行きたいと言っていた」など家庭で絵本を読んだときの子どもの様子が書かれ、家庭でも絵本に親しんでいることが分かる内容が多く見られた。以上より、進捗状況をBとする。

- ③就学前教育カリキュラムを活用した掲示物を作成し、毎月の保育室帰りの日に保護者に子どもたちの姿や育ちを伝えたり、ホームページに掲載して地域への発信を行ったりした。幼稚園は、遊びの中で総合的に子どもたちを育てていることが伝わるように、『知徳体』の視点を記載した。また、保護者会において、就学前教育カリキュラムについて丁寧に説明する機会をもったことで、保護者が、『知徳体』や教師の教育的意図をもった働きかけに今まで以上に関心をもつようになった。子どもたちの姿や成長を発信することで、家庭や地域と協働した教育の推進につながった。以上より、進捗状況をAとする。

次年度への改善点

- ①次年度も教員の資質向上に努める。
- ②次年度も、子どもの実態に合った絵本環境を整える。
- ③園の教育内容の発信を続ける。